

第3回 第7次川越町総合計画後期基本計画 総合計画審議会

日 時：令和7年8月1日（金）午前10時から

場 所：川越町役場4階 全員協議会室（敬称略）

出席者：大塚俊幸（会長）、加藤志保子（副会長）、森英郎、松岡正敬、稲塚利夫、
水谷俊治、川村智子、寺本芳隆、石川栄治、伊井雅春、川村泰代、三村宗一、
高柳初、伊藤天、小川剛、先浦宏紀

欠 席：橋本鉄二

川越町：関係課（産業建設課早川課長、防災安全課森山課長、生活環境課川村課長、
福祉課伊藤課長、防災安全課奥田主監、上下水道課葛山課長、産業建設課片山係長、
子ども家庭課館主監）

事務局（吉野課長、寺本、竹尾、加藤）

地域問題研究所（杉戸、藤）

事 項

1. あいさつ
2. 各委員自己紹介
3. 議 事
 - 1) 第7次川越町総合計画後期基本計画（案）について
 - ・ 施策体系について
 - ・ 計画の構成について
 - ・ 主要課題について
 - 2) 基本方針1 安全で快適な暮らしができるまちづくり
 - 3) 基本方針2 便利で活気ある暮らしができるまちづくり
4. その他

《議事要旨》

開 会

事務局（竹尾）

- ・ 只今より第3回川越町総合計画審議会を始める。
- ・ 川越町総合計画審議会規則第6条第2項の規定で、委員の過半数以上の出席が必要となるが、本日は委員総数17名のうち16名が出席しているため、本審議会が成立することを報告する。

1. あいさつ

大塚会長

本日から3回にわたって各分野に絞って議論を行う審議会の中でもコアの部分。身近なことも含めて、多くの人から意見を出していただきながら、議論ができればと思う。

2. 各委員自己紹介

事務局（竹尾）

- ・今回の審議会から議員推薦の3名が交代されたため、委員名簿の順に自己紹介をお願いしたい。

3. 議 事

1) 第7次川越町総合計画後期基本計画（案）について

大塚会長

- ・議事1の「第7次川越町総合計画後期基本計画（案）について」事務局より説明をいただきたい。

事務局（寺本）

- ・【追加資料】計画の構成、【資料2】基本構想（まちづくりの理念と将来像）【資料3】単位施策一覧、【資料4】後期基本計画（案）～基本方針1・基本施策2 抜粋～、（参考資料1）目標値一覧、（参考資料2）「主な事業」の追加・削除内容、（参考資料3）活動団体アンケート調査結果、（参考資料4）活動団体・区長ヒアリングまとめ、【資料1】第7次川越町総合計画 後期基本計画（案） 川越町の主要課題（1～3ページ）について、一括して要点部分を説明。

大塚会長

- ・後期基本計画（案）の前提になることを説明していただいたが、今回から参加している方もいるため、確認したいことも含め、ご意見をいただきたい。

《委員からの質疑なし》

- ・特に意見が無いようですので、続いて「2）基本方針1 安全で快適な暮らしができるまちづくりについて」の説明をお願いしたい。

2) 基本方針1 安全で快適な暮らしができるまちづくり

事務局（吉野）

- ・【資料1】第7次川越町総合計画 後期基本計画（案）「基本方針1 安全で快適な暮らしができるまちづくり」について（4～21ページ）の要点部分を説明。

大塚会長

- ・本審議会は午前中で終了する予定のため、説明も含め、1つの基本方針を40分間程度で進めたい、と考えており、残り15分くらいこのテーマで議論ができるので、皆さんからご意見やご発言をいただきたい。

稲塚委員

- ・6ページの「②地震・津波対策の推進」について、参考資料2の「主な事業」の追加・削除内容一覧で、「津波避難施設建設事業」が後期基本計画では事業完了による削除ということになっているが、そのような解釈で良いのかをお聞きしたい。

森山防災安全課長

- ・津波防災地域づくりに関する法律で、津波の到達時間が短く、避難行動をとるのが難し

い津波浸水域には津波避難タワーを作らなければならないということで整備したが、作るべきタワーができたということで、後期基本計画では削除させていただいた。

稲塚委員

- ・今年3月の南海トラフ地震の被害想定では津波浸水域は拡大している。また、参考資料3の「団体アンケート調査結果報告書」の6ページの中段と10ページの下段に「南海トラフなどの地震に備え、安全安心のため、各地区に避難タワーが絶対に必要。」との意見がある。また、参考資料4の「活動団体・区長ヒアリングのまとめ」の2ページでも「津波対策のため、地区内に避難タワーの設置をお願いしたい。」と区長からも言われている。町の最上位の総合計画であり、民意を尊重して計画づくりをしていく必要がある。その中でできる、できないは色々あるが、この事業を削除するというのは少しいかなものかと思う。議員として地域からの声を代弁し、地域と町の架け橋の役割があり、笑顔が つなげるためにも、計画、事業の見直しを考えてもらいたい。

大塚会長

- ・後期基本計画では完了にしているが、町民、団体からのニーズがある中で、行政の対応としてどうしていくべきなのか、引き続き検討していくという考えはあるのか、という意見。

森山防災安全課長

- ・県が被害想定を進めている中で、その結果によって町としても今後、対策を考えていくことになる。現状では県から被害想定が出ていないため、先ほど説明した内容になると考えている。川越町は、津波の到達までに時間があり、津波避難タワーは最終的に登ってもらう施設であるため、まずは、山の方へ逃げていただきたいと考えている。身近なところにすぐ上がるものを整備してほしいと言われるが、まずは山の方へ行っていただきたい。

稲塚委員

- ・言われることはごもっともであるが、総合計画は今後5年間の計画であり、県の見直しは5年先ではなく、1年先、今年末には出てくるような段階である。その間が空白になるのではないかと懸念する。また、地震による液状化も考えられるため、津波からいち早く逃げるには高台が必要ということもあり、今後、色々と考えていただきたい。

事務局（吉野）

- ・地震発生から30分以内に30cm以上の浸水が生じる地域を浸水区域とし、国からも避難者を早急に避難させなければならないということで、国庫補助金で、全国的に津波避難タワーが整備されてきている。亀須・亀崎地区も液状化の関係等もあり、事前避難対象地域として指定し、施設を建設するために、前期の計画に主な事業として掲載した。各地区の方から要望をもらっていることは重々承知しているが、国の補助金に制約ある中、それでも町単独でやるかを含め、総合的に考えると、現時点では主要事業に挙げるのは難しい。今後、県や国から出てきた数字を見ながら津波避難タワーが必要なのかどうかを再検討させていただくが、現段階では主要事業として挙げることは控えさせていただくことをご理解いただきたい。

森委員

- ・ 5 ページの防災行政無線個別受信機の貸与数について、これはほとんどの世帯に行き渡っており、今後は公式 L I N E に置き換えていくということか。

事務局（吉野）

- ・ 防災行政無線個別受信機は全部には行き渡っておらず、概ね 60% くらいだが、今の若い方などは情報を得るための媒体として個別受信機のような機器を望んでいない。L I N E やメールでほしいという意見が多く、今後も個別受信機と L I N E、メールの両方で対応していくしかないと考えている。後でも説明するが、新たに、L I N E の登録者数を目標値として設定しており、両方を使って住民への周知を図っていくことを考えている。このような現状の中で個別受信機の目標値を 3,000 台まで増やすことが難しいということで目標値の見直しを行った。

森委員

- ・ もう一点、15 ページの水道管耐震化率の目標値は、目標達成したからということで令和 7 年 38%、12 年 40% と修正しているが、今後 5 年間で 2% しか増えないという目標になっているがもっと進めていく考えはないのか。

葛山上下水道課長

- ・ 水道管の耐震化だけでなく、水を送るための配水施設の耐震化など、管路以外も進めていかななくてはいけないため、この間は水道管の耐震化のスピードが少し落ちる計画となっている。

川村（泰）委員

- ・ 子どもの登下校の安全確保のため、スクールサポート事業を下校時だけでなく登校時でも考えてもらいたい。北小の朝の時間帯は、学校周辺は車が多く、加えて送迎の車も多くて危険である。亀崎地区などの遠い所から小さな子どもがこの暑い中を歩いてくるのはさすがに危険なため、車で送っていく親御さんがいることから送迎の車が増えている。また、育成会に入らないと集団登校班に入れないということを噂で聞いたこともあり、ファミリーマートの駐車場などまで送迎している。これをゼロにはできないが、登校時もスクールサポートの力を借り、例えば朝、役場の駐車場をスポットにしてそこまで親御さんに送迎してもらい、そこからはスクールサポートと一緒に歩いて集団登校するということができないかと思う。
- ・ また、お母さんが仕事に行く前に学校へ送っていき、学校の昇降口でドアが開く 8 時まで待っている子どもがいるとも聞いていて、四日市市では柔軟に対応をしているとも聞いている。そのような場合にもスクールサポートが登校前の学童みたいに体育館などで預かることを行っているところがあるため、そのような登校時のサポートをしてもらえると良い。

事務局（吉野）

- ・ 通学は学校教育の分野になっており、基本方針 4 になってくる。本日は学校教育関係者が出席していないため、次回の審議会で回答できるよう、ご意見を共有させていただく。

伊藤委員

- ・ 5 ページの目標値に「ブロック塀等除却件数」があるが、令和 12 年で 111 件となっている。また、令和 7 年までで 61 件となっている。防災や通学路の安全の問題として、通学路にブロック塀あるいは避難路沿いにブロック塀がある場所は結構危険だと思うが、今後、どのような取り組みをして減らそうとしているのか。また、除却させるための助成金などは整備されているのかをお聞きしたい。

早川産業建設課長

- ・ ブロック塀の除却については、狭あい道路に面する敷地での建築行為等に対し、道路後退用地事業として、道路のセンターから 2 m 後退しないといけない場合、そこにブロック塀があった時に撤去するための費用を個人に補助している。町からブロック塀を壊してほしいと個人にお願いするのは難しいため、補助制度を設けている。
- ・ 広報等での周知に加え、個別訪問でも補助制度の周知を行っている。

伊藤委員

- ・ 老朽化したブロック塀がある所は、通学路や避難路の見直しも考える必要がある。能登半島地震ではブロック塀が倒れていて、あのような状況で夜間に避難する場合にはパニックになる。そのため、倒壊が予想されるところは除去できるような取り組みができるとうい。

事務局（吉野）

- ・ 以前から災害時のブロック塀が危険なことは承知しているが、構造的に鉄筋が入っているのかなどの実態が役場側ではわからない。そのため、避難路を考える時にはブロック塀があれば倒れるものとして、そこは避けましょうというほかない。行政から強制的にブロック塀を壊してもらうことはできないため、助成を行い、垣根やフェンスに変える取り組みをしているが、垣根は管理に手間がかかる、フェンスにすると外から見えるなど、なかなか進んでいない状況。個人の財産であるため、行政が強制的に行うことが難しいことをご理解いただきたい。

早川産業建設課長

- ・ 個人の財産のため難しいが、目標値の 111 件まで上げていくために、危険性などを丁寧に説明して、協力していただけるよう、引き続き、周知・啓発を徹底していくことを考えていきたい。

川村（智）委員

- ・ 先月 7 月 17～18 日に集中豪雨というか、短時間にかかなりの雨量があったが、私の地区では 3～5 cm くらい浸水した。その時ちょうど小学生の下校時間と重なって、国道の下にはいつも浸水する箇所があり、その中を子ども達が靴を履いたまま帰宅したという話を聞いた。排水路の整備についてはもっと細かく見てもらい、排水ができない所は集中的に整備することを考えていただきたい。

寺本委員

- ・ 下校時に、北小学校から 500m ぐらい水路が溢れ、道路が川状態になった。1 時間もしたら水は引いていたが、雨量が多い場合に対応できない箇所が沢山あるのではないかとと思うため、行政として確認し、対策を考えてもらいたい。

事務局（吉野）

- ・職員も巡回しながらその状況を確認しているため、今後対策を検討していきたい。

稲塚委員

- ・8ページの「④防災・災害情報の受発信体制の強化」の主な事業の住民向けメール・公式LINE配信事業で、住民への避難情報として適切な避難行動を支援するため、例えば避難所の収容人数をオーバーしているような所へ、それを知らない住民がさらに避難して来ないように、どこの避難所がまだ受け入れ可能なのかを逐次発信していくことで、命をつなぐ行動、迅速かつ安全に避難できるため、情報の発信の仕方についても検討してもらいたい。

大塚会長

- ・防災、安全についての皆さんの関心が高いので、多分まだ意見が出尽くしていないと思うが、2つ目のテーマに移らせていただき、残り時間があれば全体を通じて意見をうかがいたいと思う。
- ・続いて、「3）基本方針2 便利で活気ある暮らしができるまちづくりについて」の説明をお願いしたい。

3）基本方針2 便利で活気ある暮らしができるまちづくりについて

事務局（吉野）

- ・【資料1】第7次川越町総合計画 後期基本計画（案） 基本方針2 便利で活気ある暮らしができるまちづくりについて（22～32ページ）の要点部分を説明。

大塚会長

- ・基本的にこれまでの内容から大きく変わる部分が少ないという説明であったが、市街地・住環境、道路・交通、産業は町の活力のもとになる安全と同様にかなり重要になってくる項目であるため、皆さんからご意見を伺いたいと思う。

松岡委員

- ・今、山武の東側に建設されるラ・ムー（ディスカунストア）の工事が始まっているが、ここへは誰もが車で行くわけではなく、歩行者や自転車でも買い物に行くとと思われる。しかし、ここの歩道は狭くて危険なため、今後の安全対策についてどのように考えているのか。

早川産業建設課長

- ・この道路は高松川越海岸線という都市計画道路だが、歩道の幅が狭く、電柱も邪魔で、水路などの側溝、段差などもあり、危険な状況は把握しているが、整備には、地元の協力が必要。開店までに、できる範囲で安全対策をしたいと考えている。

稲塚委員

- ・27ページの「①幹線道路の整備の促進」で、主な事業の「道路改良事業」では、国道、県道の交差点改良や歩道整備を働きかけるとのことだが、国道1号の両サイドに商業施設が増え、土日は渋滞がひどいため、町単独では難しいが、例えば隣接する自治体とも力を合わせながら拡幅できるように、国や県へ働きかけていくことが必要である。朝日

町の日立金属の周辺では排水路の工事にあわせて道路が拡幅されているので、広域で連携して話をしてもらいたい。

早川産業建設課長

- ・国道1号は国の管轄道路であり、工事が予定されているタイミングで要望を行うなど、拡幅要望の仕方も今後考えていきたいと思う。

事務局（吉野）

- ・国道1号は4車線化の都市計画決定をしている道路で、国の整備計画に乗っかるように四日市市、桑名市などと連携して県に働きかけをしていきたいと思う。

川村（泰）委員

- ・24ページの「③空家対策の推進」で、空家バンクの登録件数を増やすためにとあるが、現在、空家バンクに登録されている物件はどれくらいか。

事務局（吉野）

- ・今までは無かったが、現在の1件のみ登録されている。

森委員

- ・特定空家の件数がずっとゼロ件となっていていっているが、現実はそのような感じがしないと思うが。

森山防災安全課長

- ・建物の管理上で好ましくない空家はあるが、先ほどのブロック塀と一緒に個人の財産であり、町から所有者へ色々とアプローチはしているが、相続問題で、相続人間で協議が進んでいない事例もある。特定空家として指定はしていないが、危険な空家であれば行政で措置することも考えていかななくてはいけないが、所有者が何とかしようとしているものはなかなか対応が難しい。周りに影響を与えるような危険性があれば、今後、対応を考えていきたい。

寺本委員

- ・農業政策について、役場周辺の田んぼは33軒の農家で耕作しているが、もう5年経つと担い手が減り、耕作放棄地が出てくると思われ、景観なども様変わりして雑草なども増えてくる。そのため、今のうちから耕作放棄地などの対策を考えていく必要がある。

早川産業建設課長

- ・現在は農業委員会で農地パトロールをして草だらけのところは土地所有者に適正な保全管理をしてもらっている。そのため、耕作放棄地がゼロ件の状況になっている。また、後継者の問題については、現在、地域計画を作り、市街化調整区域内の農地の後継者を探す取り組みを進めている。

大塚会長

- ・耕作放棄地はゼロ件でも、実際に農作物を栽培していない所は保全管理をお願いしており、そのような農地が結構増えていると思われる。
- ・その他いかがか。もしよろしければ、先ほどの基本方針1「安全で快適な暮らしができるまちづくり」も含めてご意見をいただきたい。また、できたらこのページのここについては、このように記載した方が良いというようなご提案をいただけるとありがたい。

稲塚委員

- ・14 ページの「①河川環境の整備」で、川越町に朝明川と員弁川（町屋川）の2つの2級河川があるが、河川敷で雑木が繁茂しているため、強力に県に働きかける必要がある。朝明川は両岸が川越町内にあるので、町単独でも実施が可能かと思うが、員弁川は左岸側が桑名市である。また、河川の管理、浚渫などは河口部から進めないと氾濫が起きてしまう。特に国道1号から国道23号の間の左岸側は河床の約半分がジャングル状態になっている。桑名市側のため、強力に進めることはできないが、県や桑名市と協議し、河口部の管理をするように働きかける必要がある。また、町屋橋の付近では河川の幅を広げていることから、そこから一気に下流へ水が流れ、河口にある川越町の被害が大きくなるため、災害に強いまちにしていけるための取り組みを強力に進めていただきたい。

大塚会長

- ・14 ページの「①河川環境の整備」に、堤防強化、河川の浚渫、河川敷の雑木の撤去などを県に働きかけると記載があるが、もっと強力に推し進めてもらえるようにしてもらいたいということだと思う。

早川産業建設課長

- ・員弁川については桑名市側が桑名建設事務所で、川越町側が四日市建設事務所で管轄が異なるが、町ではそれぞれに伐採を要望しており、今年度から桑名市側の伐採を実施しています。

川村（智）委員

- ・カーブミラーについては申請してからどのくらいの期間で設置されるのか。マックスバリュの裏側の天神のT字路あたりで、今まで設置されていたものが無くなったという話を聞いて申請した。申請してからもう3か月くらいになるが未だに手付かずの状態である。危ない場所なので、できるかぎり早急に設置をお願いしたい。

森山防災安全課長

- ・区長にも連絡をしたが、その案件は業者へ依頼済みである。ただ、年度初めや年度末は工事が集中しており、2回くらい催促しているが、工事が重なって遅れているとのことで、ご理解をいただきたい。

大塚会長

- ・その他、いかがでしょうか。今日言っておきたいということがありましたらお願いしたい。
- ・なお、言い残したことがあれば、次回の会議や個別に役場へお伝えいただきたい。
- ・次回以降、2回に分けて分野別に審議するが、審議会ではこの書き方ではここが良くないので項目を増やしてほしい、このような表現にしてほしいなど、直接この計画書の中に反映されるように発言していただけるとありがたい。そのため、次回までに読み込んでいただき、議論できればと思うのでよろしくをお願いしたい。

3. その他

事務局（竹尾）

- ・次回第4回審議会は8月8日（金）10時から、第5回審議会は8月12日（火）13時半

から開催するので、よろしくお願いいたします。

以上